

歷史人名的正確性， 提供參考

／吳水榮

看了「豐年50卷21、22期」溫秀嬌小姐報導「看看日本，有許多感想」(上)(下)，內容很好，也刊登了很多日本地方的照片，非常難得，但是文中人的姓名一字之錯就是會不一樣，不知道是不是導遊小姐或是發音同樣，字

不一樣，應該是織田信長才對，不是知田信長。人活到老學到老，只是提供做參考。

附寄60年前公學校國史卷二第1、2頁做參考。



家康が秀吉に仕へる江戸

徳川家康が學問を問はむ

強くなりました。家康が十九歳のとき、川義元は織田信長のためにほろぼされましたが、その子が愚で、父の力を討たうともしなかつたので、家康は今川氏ときつばり交際を絶つて、信長とむすび、東方遠江をとつて、濱松の城にうつり、非常に勢が

公學校國史 卷二

第二十七 徳川家康

豊臣秀吉の後をうけて、國內をすつかり統一したのは徳川家康です。家康は三河の人で、新田氏の子孫だといはれてゐます。父の廣忠は岡崎の城主でしたが、その頃は駿河の今川氏が盛でしたから、その方につき、家康は子供のときから、今川氏へ人質にやられました。家康は生まれつきかしくかつた上、今川氏のところにもる間も、師について一心に學問をほげみました。またこの間にいろいろ難儀な日にあひましたので、何事にも辛抱

第二十七 徳川家康

二